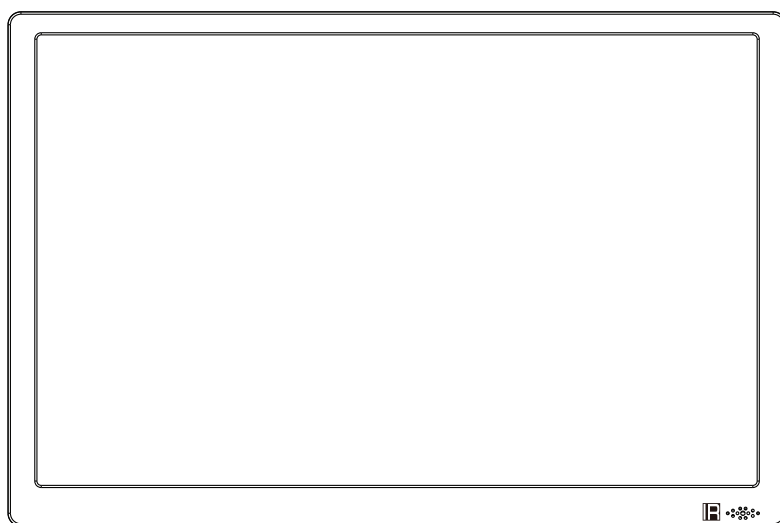


17インチ液晶 地上デジタルテレビ

取扱説明書



データ放送には
対応していません



OVER TIME[®]
OT-FT17K

もくじ	2
はじめに	3
準備	7
チャンネルの初期設定	13
テレビを視聴する	16
録画機能を使う	19
テレビモード時のリモコン操作／各種設定	25
付加機能を使う	26
付加機能使用時のリモコン操作／各種設定	29
その他	30

この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

<必ずお読みください>

電気製品は安全の為に注意事項を守らないと、火災や人身事故になる場合がございます。
本書には、事故を未然に防ぐ為の重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
本書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

はじめに 3

安全上のご注意	3
使用上のご注意とお願い	5
付属品の確認	6

準備 7

各部の名称（本体）	7
各部の名称（リモコン）	8
テレビの設定	9
設置する	9
アンテナの接続	10
miniB-CAS カードの準備	11
リモコンの準備	12
電源コードをつなぐ	12
電源を入れる	12

チャンネルの初期設定 13

テレビを視聴する 16

基本的な使い方	16
電子番組表（EPG）を使う	18

録画機能を使う 19

番組録画（予約）機能について	19
録画用外部メモリーの準備	20
番組録画に関する各機能を使う	22

テレビモード時のリモコン操作／各種設定 25

付加機能を使う 26

外部機器と接続する	26
外部メモリーデータの再生	27

付加機能使用時のリモコン操作／各種設定 29

その他 30

故障かな？と思ったら	30
内蔵充電電池について	32
製品仕様	32
保証規約と免責について	

はじめに

本製品をご使用になる前に、以下の「安全上のご注意」「使用上のご注意とお願い」を必ずよく読み、正しくお使いください。

安全上のご注意	3
使用上のご注意とお願い	5
付属品の確認	6

安全上のご注意

本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違えた使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながる恐れがあり大変危険です。

本製品および付属品をご使用されるときは、事故を防ぐため、以下の注意事項をよくご理解いただき、必ずお守りください。

 警告 この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	
 高圧注意を表します。	 禁止を表します。
 必ず指示に従います。	

 注意 この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。	
 接触禁止を表します。	 分解・修理・改造禁止を表します。
 コンセントの扱いに注意してください。	

警告

 電源プラグをコンセントから抜くときに必ず電源プラグを持って抜いてください。濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
 電源コードが損傷したり電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグの冷えたことを確認してコンセントから抜いてください。コードを抜くときはプラグを持ちながら行ってください。
 雷が鳴り出したときは、本製品に触れないでください。誘導落雷により感電することがあります。
 本製品の上に金属類、花瓶やコップなど水の入った容器をのせないでください。火災・感電の原因となります。
 本製品の内部に金属類や燃えやすいもの、水分などが入ると、感電や火災の原因となります。
 本製品を落としたとき、また落下物などで本製品キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き出してください。

安全上のご注意

警告

-  本製品や電源コードの内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。
-  電源コードを延長したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。火災や感電の原因になります。
-  通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。
-   裏ぶたをはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

下記の場合は、電源を切り電源プラグを抜いてからお買上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。ご自身での修理は危険ですので、絶対になさらないでください。



- 落としたりして機器が破損した
- 機器の中にものが入った
- 熱器具に近づける
- 液や煙、音、または異臭がでる
- 機器を雨や湿気にさらした
- 電源コードや電源プラグが破損した
- 途中でつぎ足したりして加工する
- トラブルシューティングで対応できない

注意

-  平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
-  湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
-  直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。
-  液晶パネルに衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。
-  音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
-  内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
 - 本製品をあお向けや横倒し、逆さまにする。
 - 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
 - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。
-  移動するときは、電源プラグ、外部との接続をはずしてください。
-  旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。
-  お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意とお願い

●デジタル放送のコピー制御について

本製品には付属の miniB-CAS カードを必ず挿入してください。デジタルテレビ放送ではコピー制御の為、B-CAS の機能を利用します。

挿入されないと、全てのデジタルテレビ放送が映らなくなります。カードを挿入していただくことで、地上デジタル放送の各番組をお楽しみいただけます。

(NHK や無料民放放送など)

デジタル放送は鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご視聴でき、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し魅力ある番組が製作されます。(ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。)

●液晶パネルのドット欠けについて

液晶パネルには画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは液晶パネルの製造上の特性に付き故障ではありません。

●本製品の温度について

本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

●設置室内の温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。

●輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネル部の破損や画欠点の増加などの恐れがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

●ゲーム機器との接続について

ガン（銃）タイプのコントローラーを使用するゲーム機器などは本製品では使用できない場合があります。詳しくは各ゲームおよびコントローラーの説明書をご覧ください。またゲーム機器の操作に対して、若干遅れて反応しているように感じられる場合があります。これは入力された信号が表示されるまでに、デジタル処理によるタイムラグが発生するため、故障ではありません。ゲームの種類や内容によっては、画面が欠けて表示される場合があります。

●お手入れについて

お手入れの際は、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞ってから拭き取り、その後乾拭きしてください。

*キャビネットの変質や破損・塗料剥がれなどの恐れがありますので、以下のことをお守りください。

- ・ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は注意書きに従ってください。
- ・殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。またゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長時間接触させないでください。

*液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護の為、以下の事をお守りください。

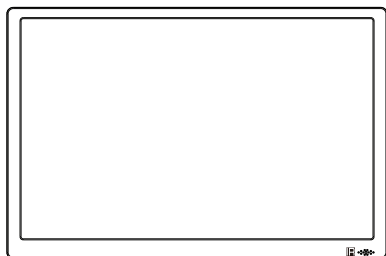
- ・パネルに硬いものや尖ったものを当てたり、強く押したり、こすったりしないでください。傷や変色の原因となります。
- ・パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラや変色の原因となります。
- ・パネルの汚れを拭き取る時は、ホコリの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷や変色の原因となります。

●本製品を破棄するときは...

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中に本製品を捨てないでください。本製品を破棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

付属品の確認

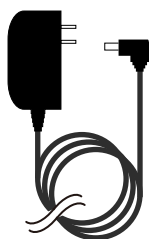
本製品をご使用になる前に、以下の付属品が全て揃っているかをご確認ください。万一、不足していたり破損していた場合は、ご購入された販売店または サービスセンターまでご連絡ください。



☐ 本体

☐ リモコン

☐ miniB-CAS カード

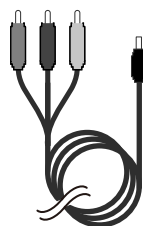


☐ AC アダプター



☐ 車載用 DC アダプター
(12V 車専用)

☐ AV ケーブル (RCA)

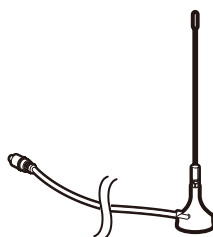


☐ 簡易 TV アンテナ



☐ イヤホン

☐ 取扱説明書（保証書付）



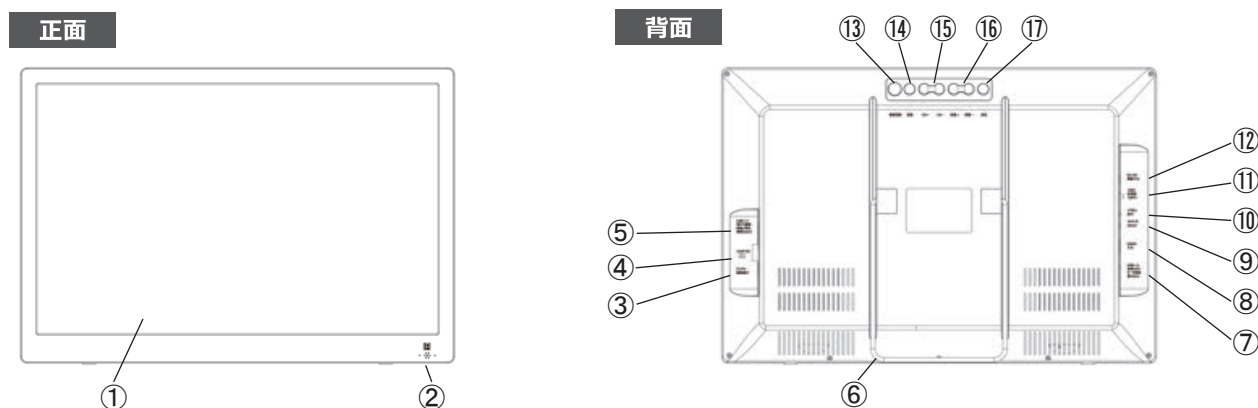
※同梱品のデザイン及び色合いは、品質向上の為予告なく変更することがあります。

準備

以下の項目は地上デジタル放送をお楽しみいただくために必要なアンテナ接続方法、miniB-CAS カードの挿入方法、本製品の各部名称、主な機能、リモコンのボタンの説明などをご案内いたします。

各部の名称（本体）	7	各部の名称（リモコン）	8
テレビの設定	9	設置する	9
アンテナの接続	10	リモコンの準備	12
miniB-CAS カードの準備	11	電源を入れる	12
電源コードをつなぐ	12		

各部の名称（本体）



- (1) 液晶パネル 視聴データを表示する画面です。
- (2) リモコン受光部 リモコンで操作する時、こちらの方向に向けて操作します。
- (3) アンテナ接続端子 地デジ放送用アンテナと接続します。
- (4) miniB-CASカード挿入口 付属のminiB-CASカードを挿入します。
- (5) 地デジ番組録画/再生USB端子 地デジ放送番組を録画用メモリーに録画する時や、録画データを視聴する時に使用します。
- (6) 設置用スタンド 本機を立て掛けて設置する際に使用します。
- (7) 外部データ再生USB端子 音楽や動画のデータを視聴する時に使用します。
- (8) HDMI入力端子 外部機器接続用端子。モニターとして作動します。
- (9) AV入力端子 外部機器(DVDプレーヤーなど)から付属のRCAケーブルで入力
- (10) イヤホン出力端子 イヤホンで音源を視聴する時に使用します。
- (11) 主電源スイッチ(ON/OFF) 本体電源のON/OFFを行います。
- (12) DC電源入力端子 電源アダプター(AC/DC)の端子部を挿入します。
- (13) 機能切換ボタン 設定するデバイスを選択します。
- (14) 設定ボタン 設定メニュー画面を表示します。
- (15) CH(+/-)ボタン 視聴する番組を選局します。
- (16) 音量(+/-)ボタン 音量の調整を行います。
- (17) 決定ボタン 選択した項目を決定/実行する時に使用します。

各部の名称（リモコン）

※ご注意：本書に掲載している画面・イラストなどは機能等を説明する為のものであり、実際の表示とは多少異なる場合があります。

1：電源ボタン

本体電源のオン／オフを切り換えます。

2：機能切換ボタン

画面表示するデータを切り換えます。
(DTV→AV 入力→HDMI 入力→USB メモリ)

3：数字ボタン

チャンネル選局や設定時の数字入力時に使用します。

4：サーチボタン

本体に接続したアンテナで受信可能な放送番組を登録する／登録しなおす時に使用します。

5：設定ボタン

設定メニューを表示します。
(再度押すとメニュー画面が消えます)

6：決定ボタン

選択した項目を決定／実行します
テレビ番組視聴中に押すと登録された放送局が表示されます。

7：十字ボタン (▲▼◀▶)

設定や番組表のカーソル移動を行います。
テレビ視聴中は▲▼で表示番組を切り換えます。

8：タイムシフトボタン

テレビ番組視聴中にタイムシフト機能を使用します。
録画データや外部メモリー内データの再生／一時停止を行います。

9：早戻しボタン

録画データや外部メモリー内データの早戻しを行います。

10：早送りボタン

録画データや外部メモリー内データの早送りをを行います。

11：〈赤〉〈緑〉〈黄〉〈青〉ボタン

番組表使用時や録画データ再生時に使用します。

12：EPG 番組表ボタン

視聴中チャンネルの EPG 番組ガイドを表示します。

13：情報表示ボタン

テレビ番組視聴中：「1 回押す：番組名表示」
「2 回押す：詳細情報表示」
外部メモリー (USB/SD) データ再生中：操作ガイド表示

14：字幕ボタン

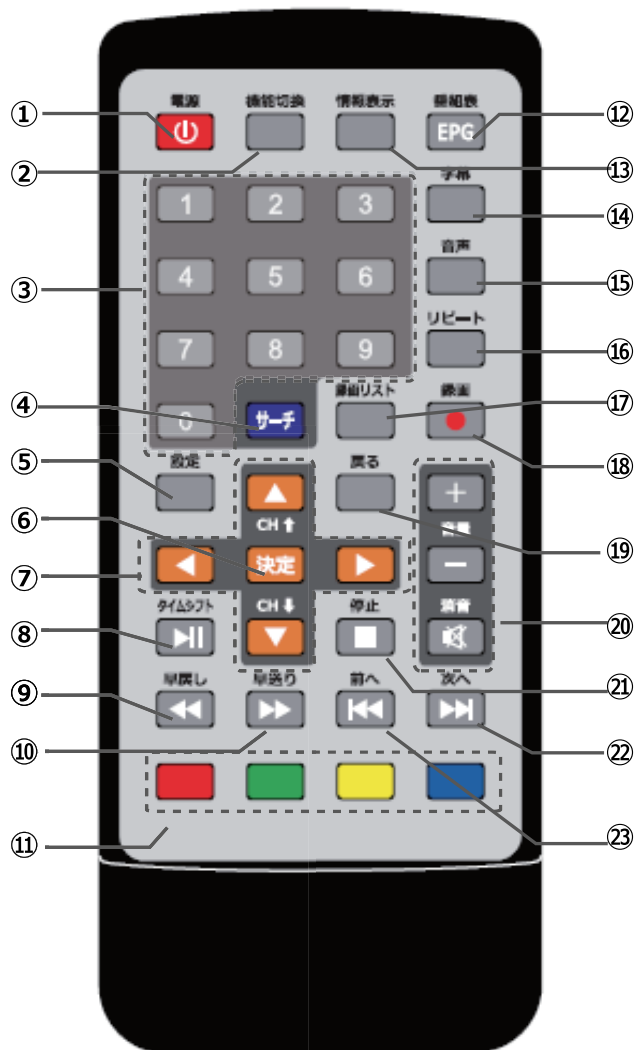
字幕放送視聴時の字幕設定を行ないます。

15：音声ボタン

音声設定を行ないます。(主／副／主＋副音声)

16：リピートボタン

外部メモリーデータのリピート設定を行ないます。



17：録画リストボタン

録画したデータリストを表示します。

18：録画ボタン

視聴中チャンネルをダイレクトに録画します。

19：戻るボタン

操作項目を戻す時に使用します。

20：音量ボタン (+/- / 消音)

音量を調整／消音する時に使用します。

21：停止ボタン

再生中の録画データや外部メモリー内データを停止します。

22：次へボタン

再生中データの一つ後のデータに移動します。

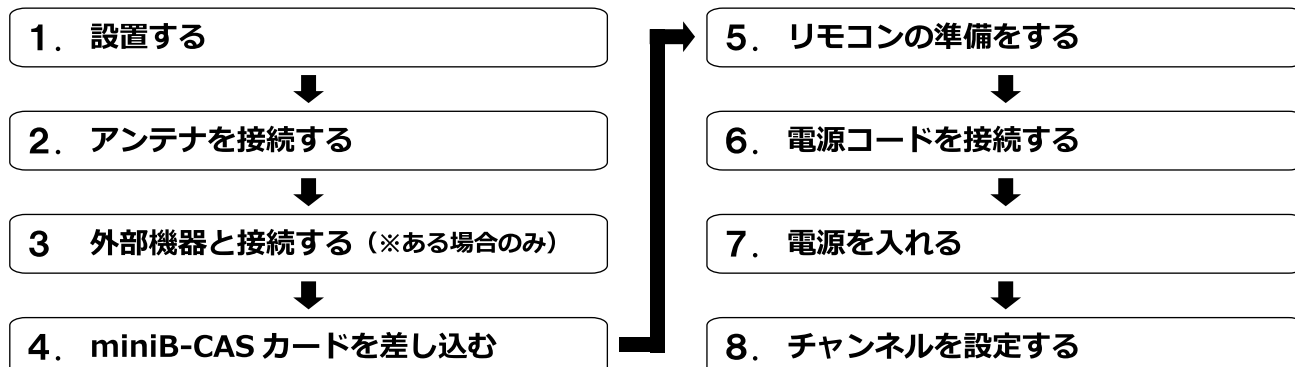
23：前へボタン

再生中データの一つ前のデータに移動します。

テレビの設定

●テレビの設定手順

安全に品質を維持した状態で本製品をご利用いただくために、下記の設定・接続が必要となります。



設置する

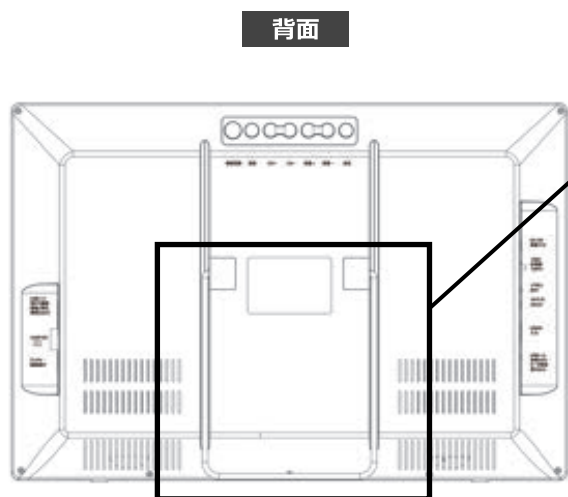
安全に本製品をご利用いただくために下記注意事項を守って設置してください。



注意

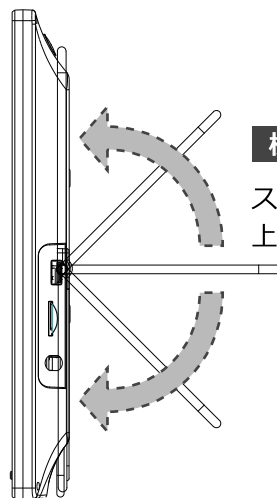
- 極端に温度や湿度が高いまたは低い場所に設置しないでください。
- 本製品を車載する場合は付属の車載用バッグを使用してください。

(!!) 運転中の本製品の操作や視聴は、事故などの原因となる場合があります大変危険です。絶対に行わないでください。



設置用スタンドは本体背面にあります。

- 部分からスタンドアームを引き出します。
(据置き設置の場合は角度を調整します)
(壁掛け設置の場合は上まで引き上げます)



- 製品に貼り付けられている保護フィルム等はキズ防止のため、必ず 本体の設置が完了してからはがしてください。

アンテナの接続

本製品では地上デジタル放送が受信できます。本製品を安全に品質を維持した状態でご利用いただくためには、下記の確認と設定が必要です。

●アンテナについてのご注意

UHF アンテナ（地上デジタル用）が設置されているかをご確認ください。UHF アンテナが設置されていない場合、地上デジタル放送はご覧になれません。UHF アンテナのご購入・設置については、電気店や専門の設置業者にご相談ください。

※設置されたアンテナの受信レベルが弱い（低下）場合、画面にモザイク状のノイズが入ったり、画面が表示されずに音声のみになるなどの症状が出る場合があります。この場合、アンテナの取換えや設置位置の調整・ブースター（電波増幅器）の増設などが必要になる場合があります。

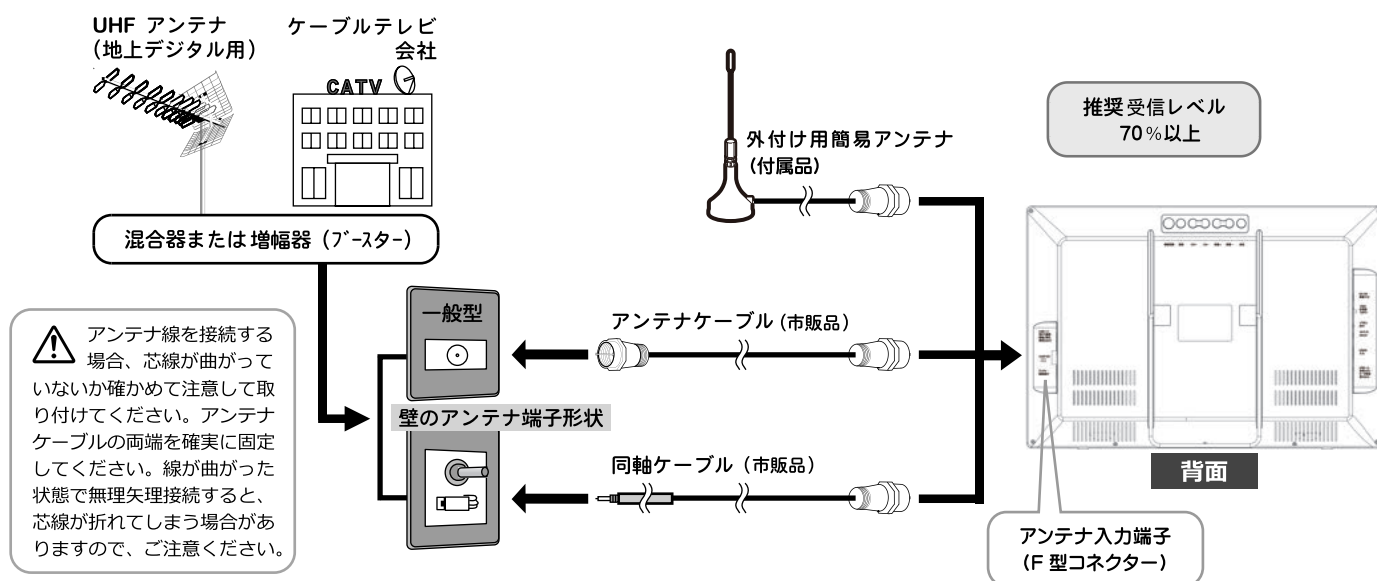
※集合住宅などでブースター等を増設する場合、他の部屋に影響がでる可能性がありますので、事前に管理者とご相談ください。

⚠ 注意 【CATV（ケーブルテレビ）で地上デジタル放送をご視聴されるお客様へ】

各ケーブルテレビ会社によって伝送方式や接続方法が異なる場合があります。

詳しくは各ケーブルテレビ会社にお問合せください。

●接続方法



⚠ 注意 室内側(壁)のアンテナ端子形状の確認と接続

●室内側（壁）のアンテナ端子形状の確認

本機を設置する環境により壁側アンテナ端子部の形状が異なりますので、接続時に使用するアンテナケーブル（市販品）の端子形状にご注意ください。

（本体側の端子部形状は F 型コネクターです）

●室内側（壁）のアンテナ端子と本機アンテナ端子との接続

上図を参照に室内（壁）のアンテナ端子とアンテナケーブル（市販品）を接続してから、本機アンテナ端子部にしっかり接続してください。

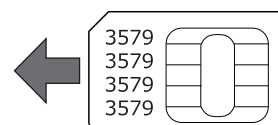
miniB-CAS カードの準備

地上デジタル放送を視聴する場合、miniB-CAS カードの常時挿入が必須です。下図を参照の上、カードの向きに注意しながら正しく挿入してください。

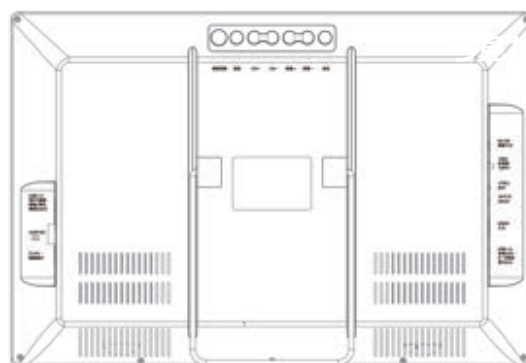
● miniB-CAS カードの正しい挿入方向：

カードの「角欠け部分」を上に向け、「角欠け部分」から挿入してください

本体正面から
見た場合



本体背面から
見た場合



● 挿入の方法

- ・ miniB-CAS カードの挿入方向を確認し、「カチッ」と音になるまでまっすぐに押し込んでください。
- ・ miniB-CAS カードを取り出す際は、カードの中央部を押し、まっすぐに引き出してください。
(カードの挿入／取出しをする時は、急に指を離さないでください)



注意

- カードの抜き差しは本機を電源コンセントからを外した状態で行ってください。
- miniB-CAS カードスロットにはカード以外の物を挿入しないでください。
- miniB-CAS カードの IC (集積回路) 部には手を触れないでください。

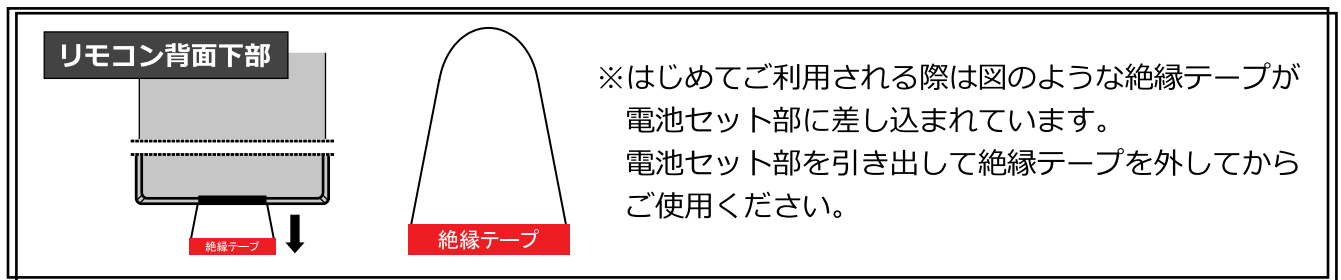
※miniB-CAS カードの取扱いにつきまして、詳しくは miniB-CAS カードの封入用紙をご覧ください。

※miniB-CAS カードの故障、破損、紛失などについてのお問合せ先：

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ／ B-CAS カスタマーセンター TEL : 0570-000-250

リモコンの準備

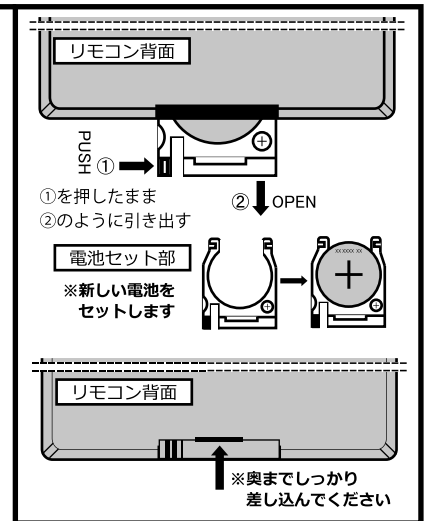
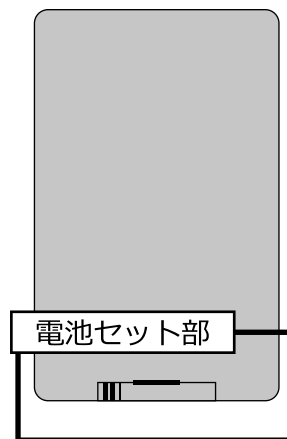
リモコンを使用可能な状態にします。以下をご参照ください。



■ 電池交換の方法

1. 電池セット部分のツメを右に押したまま電池セット部を引き出す。
2. 古い電池を取り出して、新しい電池に交換する。
(+/-の向き注意)
3. 電池セット部分を奥まで正確に差し込む。

リモコン背面



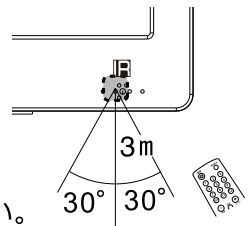
※本機リモコン用の電池は「CR2025」型です。別途電池をご用意の際は型番をご確認の上お買い求めください。

※リモコンに初期セットされている電池はテスト用のものですので、別売新品の電池と早めに交換してください。

※電池交換の作業を行う際は、電池セット部のツメ折れや傷などにご注意ください。

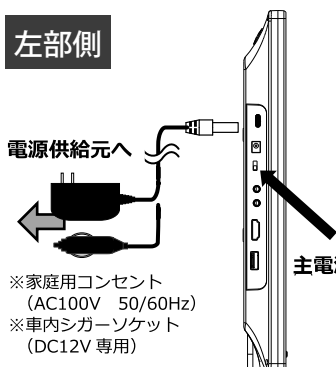
■ リモコンの基本的な使い方

- リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本製品のリモコン対応範囲は距離 3m 以内／左右 30°以内です。
(右図参照)
- リモコンと本体リモコン受光部の間に物などを置かないようにご注意ください。



電源コードをつなぐ／電源を入れる

左部側



※家庭用コンセント
(AC100V 50/60Hz)
※車内シガーソケット
(DC12V 専用)

付属品の電源アダプター (AC アダプターまたは車載用 DC アダプター) と本体を接続し、コンセント側または DC12V シガーソケットと接続します。電源アダプターを接続して正しく本体に通電されると、充電ランプが赤色に点滅または点灯します。(充電中: 点滅/満充電時: 点灯) 通電確認後、主電源を入れると電源ランプが緑色に点灯し、本体が起動します。

⚠ 注意

- 本体起動後、画面が表示されるまで数秒かかります。
- 本機を長時間ご使用にならない場合は、電源プラグを抜いてください。



チャンネルの初期設定

本機をご購入後に初めて起動させると、画面に＜インストールガイド表示＞または＜チャンネルサーチの開始＞となります。下記を参照に本機へのチャンネルの登録を完了させてください。

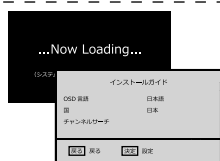


●チャンネル設定の前に以下の項目をご確認ください。

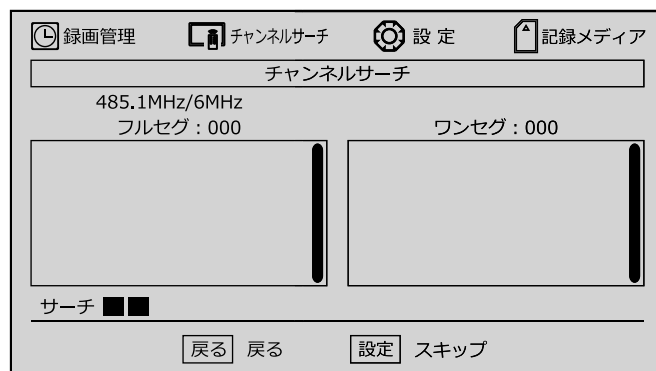
- ①電源プラグが正しく接続されていること
- ②アンテナ線が正しく接続されていること
- ③miniB-CAS カードが正しく挿入されていること



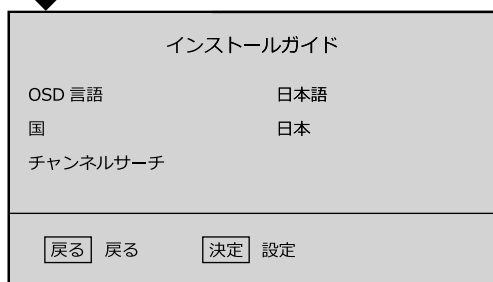
本製品に同梱されている外付けアンテナは**屋外用**の簡易アンテナです。チャンネル受信局数の登録漏れなどを防ぐため、特に初回時のチャンネル登録設定の作業を行う際は室内用アンテナとの接続の上、設定・登録してください。
(※本機とアンテナとの接続方法は P10 をご参照ください)



* 電源を入れるとシステム起動中(左図)の表示後、＜インストールガイドの表示＞または＜チャンネル自動検索の開始＞となります。(※機種により異なる)
＜インストールガイドの表示＞の場合：リモコン「決定」を押してください。
＜チャンネル自動検索の開始＞の場合：スキャン終了までお待ちください。



番組登録が失敗した場合



※
設定電波を受信できずにチャンネル登録が失敗した場合、インストールガイドに戻ります。下記をご確認の上、リモコンの決定ボタンを押して再度チャンネルスキャンを行なってください。

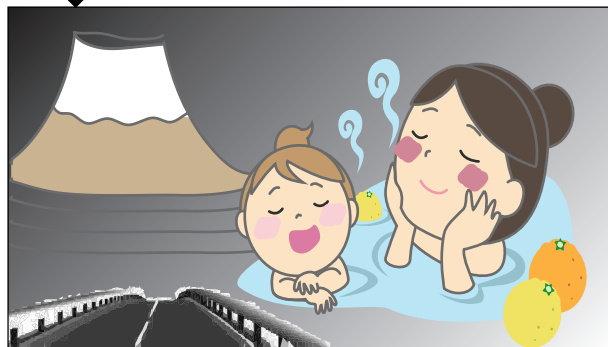
- * 本機に正しく B-CAS カードが挿入されていますか？
- * 本機と接続しているアンテナが地デジ放送の電波を受信できていますか？
(アンテナの設置位置などをご確認ください)

チャンネル受信成功／登録中

※本機と接続したアンテナが電波を受信すると、下図のようにフルセグ／ワンセグの項目にチャンネルが追加登録されていきます。



本機に番組が登録された場合



※
チャンネルサーチ終了後、番組の登録が成功すると、登録された番組が表示されます。電波の受信レベルに応じてフルセグ放送及びワンセグ放送のいずれかが表示されます。

チャンネルの初期設定（続き）

<設定しても放送が正しく映らない場合>

初期設定を終えるとチャンネルスキャンで登録されたテレビ番組が表示されます。

「テレビ番組が全く表示されない」「画面が乱れる」などの症状が出た場合は、地デジ放送の受信方法やアンテナの設置方法などに問題がある場合があります。以下を参照にご確認ください。

デジタル放送の受信方法の確認

<放送チャンネルが登録されない ...>

■屋外アンテナの場合：

アンテナが地上デジタル放送受信対応の UHF アンテナ、または VHF/UHF 混合アンテナであるかどうかをご確認ください。
(詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。)

■ケーブルテレビの場合：

地上デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送 (CATV) やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルー方式での地デジ放送受信に対応しているか、ご契約の CATV 会社や共聴システムの管理者にご確認ください。

■本製品同梱の簡易アンテナの場合：

付属の外付けアンテナは、強電界地域の屋外での用途向けに作られた簡易的なサービス品です。ブースター (電波増幅装置) 機能などは付いておりませんので、中／弱電界地域や屋内などで使用した場合、正しく電波を受信できない場合があります。このような場合、市販品などの室内用アンテナやブースター内蔵アンテナなどを別途ご用意の上、ご利用ください。
(詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。)

デジタル放送の受信レベルの確認

<CH 登録は成功したが、画像が乱れる・音しか出ない ... など>

* <アンテナ受信レベルの確認方法> を参照に受信感度をご確認ください。 (* 詳細 P15 参照)

■30%未満の場合：

「アンテナの設置位置が悪い」「受信電波が弱い」「電波障害が起きている」などの可能性があります。

この場合、お近くの電気店やアンテナ設置業者・共同アンテナの管理者や CATV 会社などにご相談ください。

■50%以上の場合：アンテナ線などの接続に間違いはありませんか？ご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。

地デジ受信方法の確認

本機にはフルセグ放送とワンセグ放送を自動で切り換える機能があります。特にフルセグ放送の受信レベルが低い場所に設置した場合、フルセグ受信とワンセグ受信に頻繁に切り換わり、その都度画面がフリーズなどを起こす場合があります。このような場合は設定メニューから受信切替を行い、ワンセグ受信に固定することで解消されます。

* 操作方法： リモコンの「設定」でメニューを表示 → 「◀▶」で「設定」に移動
→ 「▲▼」で受信切替に移動 → 「◀▶」でワンセグを選択
→ 「設定」または「戻る」で番組視聴に戻る → 変更した設定が反映されます



ワンセグ放送は小型携帯端末 (5inch 前後) 向けの伝送データ量の少ない放送波の為、本機 (9inch) でワンセグ放送を視聴した場合、フルセグ放送と比べると画質が粗くなります。故障ではございませんので予めご了承ください。

チャンネルの初期設定（続き）

<アンテナ受信レベルの確認方法>

1. リモコンの「決定」ボタンを押してチャンネルリストを表示する。
（リスト表示時：「◀▶」でワンセグ放送／フルセグ放送に切り換わります）
2. 受信レベルを確認したい放送局にカーソルを合わせ、リモコンの「決定」ボタンを押す。
（表示チャンネルが切り換わります）
3. リモコンの「情報表示」ボタンを2回押し、放送チャンネルの詳細情報を表示する。
* ページ下部に受信レベルのステータスバーが表示されますのでご確認ください。

※ リモコンの「情報表示」または「戻る」ボタンで番組視聴に戻ります。



注意

- アンテナレベルが低いと「テレビ視聴ができない」「画面が乱れる」「音声しか出ない」など様々な症状が起きる場合があります。安定して地デジ番組をお楽しみいただくためには、十分な受信レベル（推奨：70%以上～）を確保できる場所へアンテナの設置・方向の調整を行ってください。

※屋外アンテナの設置位置や方向などの調整は、高所での作業となる為大変危険です。アンテナ設置業者や電気店などへご相談いただくことをお勧めします。

※アンテナが正しく接続されていない場合、受信／視聴はできません。

※建造物、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔の無い地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、など電波の受信に影響が出やすい場所では、受信できない場合があります。

※デジタル放送では受信レベルが下がると、映像が止まる、ブロックノイズが出る、音声しか出ない、音声が途切れる、などの症状が起こる場合があります。また、移動中に受信している場合は、静止中の受信に比べ受信範囲が狭くなるため、正しく受信出来ない場合があります。

※次の放送は受信／視聴できません。＜地上アナログ放送＞ ＜BS/CS 放送＞ ＜データ放送＞ ＜緊急警報放送＞

※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。

※その他の症状が起きた場合は、本書巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

テレビを視聴する

以下の項目は地上デジタル放送をお楽しみいただくために本機の基本的な使い方やデジタル放送の機能などについての説明などをご案内いたします。

基本的な使い方 16

電子番組ガイド（EPG）を使う 18

基本的な使い方

本体の主電源を入れる／切る

- 本体左側面の「主電源スイッチ」で ON / OFF に切り換えます。

リモコンで電源を入れる／切る（待機状態）

- 本体の主電源を ON にした状態でリモコン「電源」ボタンを押します。

※電源ランプ表示：電源 ON 状態…電源ランプ<緑>

電源 OFF（または待機）状態…電源ランプ<消灯>

地デジ放送を選ぶ

- 外部機器から地デジ放送に切り換える時は、リモコンの「機能切換」ボタンを押し入力ソース「DTV」を選択後、リモコンの「決定」ボタンを押します。

※「機能切換」：<DTV> ▲▼ <AV> ▲▼ <HDMI> ▲▼ <USB>

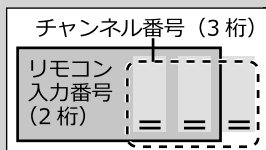


視聴チャンネルを選局する

- リモコンまたは本体の「CH+(-)」ボタンを押すとチャンネルサーチで登録されたチャンネル主番号 * の順に、チャンネルが切り換わります。

* 本書ではチャンネル番号（3桁）の下1桁の数字が「1」の番号を「主番号」と呼びます（例：051 / 081 など）

- リモコンの「数字」ボタン（2桁）を押すと指定したチャンネル（主番号）に切り換わります。
- 番組視聴中にリモコンの「決定」ボタンを押すとチャンネルサーチ時に登録された全てのチャンネルのリストが表示されます。（チャンネルリスト表示）
「▲」「▼」で視聴したいチャンネルを選択し「決定」を押すと選択した番組に切り換わります。



<操作例>

チャンネル番号 [021] を選局する時はリモコンの数字ボタンを「0」→「2」の順に押します。

※チャンネル番号 [023] を選局する時は、「決定」でチャンネルリスト表示後、「▲」「▼」で [023] を選択します。

（ご注意）チャンネルサーチで本機に登録されていない放送は視聴できません。登録漏れなどがあった場合は本書アンテナの接続（P10）をご確認の上、正しく接続してから再度チャンネルサーチを行ってください。

※チャンネルリスト表示時に「◀」「▶」でフルセグ／ワンセグ放送の選択ができます。

音量を調節する／消す（消音機能）

- 調節する：リモコンまたは本体の「音量+」「音量-」ボタンで音量を調節します。
- 消音する：リモコンの「消音」ボタンを押すと消音状態に切り換わります。
消音状態で同ボタンを押すと消音状態が解除されて音が出ます。

お知らせ

リモコンや本体のボタン操作などを立て続けに行なうと、内部システム起動用の CPU やメモリーが誤作動したりフリーズする場合があります。この場合は一度、本体の「主電源スイッチ」で本体電源を OFF にして操作メモリーをリセットすることで改善する場合があります。（改善しない場合は、<設定>メニューから<工場出荷時設定>に移動後、本体システムを工場出荷状態に戻してください）

基本的な使い方（続き）

字幕設定の切換え／音声設定の切換え

- 字幕設定の切換え：リモコンの「字幕」ボタンを押すと字幕オン／字幕オフに切り換わります。
 - 音声設定の切換え：リモコンの「音声」ボタンを押すと音声切換えメニューが表示されます。
「▲▼◀▶」で音声／主音声／副音声を選択後、「決定」を押して選択を確定します。
選択確定後に「戻る」を押すと番組視聴画面に戻ります。
- ※字幕設定／音声設定は視聴中の番組により選択や操作ができないことや、設定が反映されないことがあります。

テレビ番組視聴時の情報表示

- テレビ番組を視聴中にリモコンの「情報表示」ボタンを1回押すと視聴中番組の簡易情報を表示します。
- ※簡易情報はしばらくすると消えます



- 上記簡易情報表示中に更に「情報表示」ボタンを1回押すと視聴中番組の詳細情報を表示します。
- ※「★項目」はワンセグ放送受信時は詳細表示されず、スキャン中と表示されます



- ※番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- ※番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。

電子番組ガイド（EPG）を使う

- テレビ番組を視聴中にリモコンの「EPG」ボタンを押すと視聴中放送局の番組ガイドが表示されます。
- ※番組ガイドに関する詳細は P18 ～をご参照ください。

「録画」に関する機能を使用する

- 市販のUSB メモリー等を別途ご用意の上、録画専用スロットに正しく挿入することで、録画機能を使用することができます。
- ※録画・予約に関する詳細は P19 ～をご参照ください。

本体設定メニューを表示する

- テレビ番組を視聴中にリモコンの「設定」ボタンを押すとテレビ用設定メニューが表示されます。
- メニュー表示後、「▲」「▼」「◀」「▶」「決定」「戻る」ボタンを主に使用して様々な設定を行ないます。
- ※設定メニューに関する詳細は P25 ～をご参照ください。

電子番組ガイド (EPG) を使う

番組ガイド (EPG) の見方

■ テレビ番組を視聴中にリモコンの「EPG」ボタンを押すと視聴中放送局の番組ガイドが表示されます。



● 番組ガイド表示時のリモコン操作：

- *[◀][▶]：視聴(表示)チャンネルの切替え
- *[決定]：カーソルで選択した番組の録画を予約
- *[黄][青]：カーソルで選択した番組の情報ページ(画面右側)を切替え
- *[情報表示]：録画予約した番組のリストを表示
- *[▲][▼]：画面左側のカーソル移動
- *[赤][緑]：画面左側のページを切替え
- *[戻る]：前の操作に戻る



注意

※各放送番組の番組表を取得/表示できるまでは、時間がかかる場合があります。

(ご購入後すぐの起動時や再スキャンした後の番組表取得は、特に時間がかかる場合があります。)

※番組の中止/変更/延長などによって、実際の放送内容が番組表とは変わるまたは、異なる場合があります。

番組ガイドから録画予約する

- ① 「EPG」を押して番組ガイドを表示します。
- ② 「◀」「▶」で録画したいチャンネルに切り換えます。
- ③ 「▲」「▼」「赤」「緑」で録画したい番組にカーソルを合わせます。
- ④ 「決定」を押すと右図のような画面に切り換わります。
- ⑤ 各タグが録画したい事項と一致しているかを確認してから

「決定」を押すと録画予約が設定されます。

※録画用スロットにUSBメモリー等が挿入されていない場合、

<メモリー設備なし>と表示

※現在視聴中の番組を予約しようとする <予約無効>と表示

- ⑥ 予約が設定されると予約リストが表示されます。

※予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」

※番組ガイドに戻る場合は「戻る」



注意

※録画機能をご利用の際は、市販のUSBメモリー等が必要です。電気店等で別途ご用意ください。

※番組ガイドから録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などは行われません。

このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択の上、手動で編集を行ってください。

※本機で録画したデータは他の機器では視聴再生できません。

※録画機能に関する詳細は P19 ~ をご参照ください。